

青森県報

第 七 十 七 六 号

令 和 八 年
六 月 十 日
(水 曜 日)

目 次

公 告

○ 連携管理保全計画の認可	（農村整備課）	… 一
○ 右 同	（ 同 ）	… 一
○ 右 同	（ 同 ）	… 一
○ 右 同	（ 同 ）	… 一
○ 県営土地改良事業計画の決定	（ 同 ）	… 二
○ 右 同	（ 同 ）	… 二
○ 県営土地改良事業の緊急防災等工事計画の決定	（ 同 ）	… 二
○ 知事管理漁獲可能量の変更の公表	（水産振興課）	… 三
選挙管理委員会		
○ 政治資金規正法第十七条第二項の規定の適用を受けること となつた政治団体の名称等の公表	（事務局）	… 三
○ 政治資金規正法による政治団体の収支報告書の要旨の一部 訂正	（ 同 ）	… 四
人事委員会		
○ 人事委員会規則七―一九八（職員の退職手当に関する条例 に基づく意見の聴取の手續に関する規則）の一部を改正す る規則	（事務局）	… 四
監査委員		
○ 包括外部監査の事務を補助する者の氏名等	（事務局）	… 五

公 営 企 業

○ 青森県病院局職員就業規程の一部を改正する規程

（病院局）
事業統括部 … 五

公 告

連携管理保全計画の認可

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第五十七条の十一第一項の規定により、津軽平川土地改良区、豊田土地改良区、石川土地改良区、六羽川土地改良区、平川土地改良区、枝川鶴田土地改良区及び五所川原北部土地改良区に係る連携管理保全計画を令和八年五月十五日認可したので、同法第五十七条の十二第二項の規定により公告する。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

連携管理保全計画の認可

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第五十七条の十一第一項の規定により、中市筒口土地改良区、蛭川土地改良区、天満下土地改良区及び倉石土地改良区に係る連携管理保全計画を令和八年五月十五日認可したので、同法第五十七条の十二第二項の規定により公告する。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

連携管理保全計画の認可

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第五十七条の十一第一項の規定により、西津軽土地改良区及び大田光土地改良区に係る連携管理保全計画を令和八年五月十八日認可したので、同法第五十七条の十二第二項の規定により公告する。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗一郎

連携管理保全計画の認可

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第五十七条の十一第一項の規定により、青森北部土地改良区、青森中部土地改良区、青森第二北部土地改良区及び奥内土地改良区に係る連携管理保全計画を令和八年五月十八日認可したので、同法第五十七条の十二第二項の規定により公告する。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗一郎

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、小湊地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）（暗渠排水））計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁判があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年六月十一日から同月三十日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、藤坂頭首工地区の県営土地改良事業（水利施設整備事業（基幹水利施設保全型））計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁判があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和八年六月十日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年六月十一日から同月三十日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業の緊急防災等工事計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条の四第一項の規定によ

県営小湊地区土地改良事業計画書

(経営体育成基盤整備事業 (農業用排水施設整備))

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地 形、土 壤 及 び 浸 食 の 程 度	3
2.	土 地 利 用 の 状 況	4
3.	土 地 所 有 の 状 況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想 定 被 害 状 況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主 要 道 路 一 覧 表	9
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 就 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 専 兼 業 別 農 家 数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	10
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

第 2 節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	13
1.	営 農 計 画 の 概 要	13
2.	土 地 利 用 区 分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労 働 改 善 計 画	15
第 3 節	用 水 計 画	16
1.	計 画 基 準 年	16
2.	計 画 かん がい 方 式	16
3.	計 画 用 水 系 統	16
4.	計 画 用 水 量	16
5.	水 源 計 画	18
第 4 節	排 水 計 画	19
1.	計 画 基 準 雨 量	19
2.	計 画 排 水 方 式	19
3.	計 画 排 水 系 統	19
4.	計 画 排 水 量	19
5.	排 水 対 策	19
6.	た ん 水 検 討	19
第 5 節	道 路 計 画	21
1.	道 路	21
2.	路 線 配 置 図	21
第 6 節	洪 水 調 節 計 画	21
1.	計 画 基 準 雨 量	21
2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	21
3.	貯 水 池	21
4.	洪 水 調 節 検 討	21
5.	管 理 計 画	21
第 7 節	農 用 地 整 備 計 画	22
1.	区 画 整 理	22
2.	暗 渠 排 水	22

3.	客	土	22	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	24	
4.	農	地	22	第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	24	
第 8 節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	22	第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	24		
1.	洪 水 吐 改 修 計 画	22	第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	25		
2.	堤 体 補 強 計 画	22	第 1 節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	25		
3.	取 水 施 設 改 修 計 画	22	第 2 節	換 地 区 の 設 定	25		
第 5 章	主 要 工 事 計 画	23	1.	換 地 区 の 名 称 ・ 所 在 ・ 面 積	25		
第 1 節	用 水 施 設	23	2.	換 地 区 を 設 定 す る 理 由	25		
1.	貯	水	池	23	第 3 節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	25
2.	頭	首	工	23	1.	従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準	25
3.	揚	水	機	23	2.	用 途 別 予 定 地 積	25
4.	用	水	路	23	3.	農 用 地 集 団 化 の 方 針	25
第 2 節	排 水 施 設	23	4.	非 農 用 地 換 地 の 方 法	25		
1.	排	水	水 門	23	第 4 節	土 地 の 評 価 及 び 清 算 の 方 法	25
2.	排	水	機	23	1.	評 価 の 方 法	25
3.	排	水	路	23	2.	清 算 の 方 法	25
4.	そ の 他 排 水 施 設	23	第 5 節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	25		
第 3 節	道	路	23	第 6 節	換 地 処 分 の 時 期 に 関 す る 特 則	25	
1.	道 路 の 総 括 表	23	第 10 章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	26		
2.	道 路 主 要 構 造 物	23	第 11 章	効	用	26	
第 4 節	洪 水 調 節 施 設	24	第 12 章	関 連 す る 事 業	27		
1.	貯	水	池	24	第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	27
2.	頭 首 工 及 び 導 水 路	24					
第 5 節	農 用 地 整 備 施 設	24					
1.	区 画 整 理	24					
2.	暗 渠 排 水	24					
3.	客	土	24				
4.	除	礫	24				
5.	農 地 保 全	24					
第 6 節	老 朽 た め 池 改 修 施 設	24					
1.	貯	水	池	24			
2.	堤 体 補 強 施 設	24					

第 1 章 目 的

本地区は、平内町を流れる二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯で、水稻を中心とした営農が行われている。水田の区画は前歴事業により30aに整備されているが、水田の一部エリアでは排水不良が見られ、大型機械の作業効率が悪く、水路においては土水路及び前歴事業により敷設された製品に老朽化が見られ、通作や維持管理等に苦慮している。

このため、本事業により用排水路の整備をすることで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積を加速化し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
東津軽郡平内町

第 2 節 地 積

(令和7年10月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
平 内 町	50.3	-	-	-	-	50.3	土地登記簿面積

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	野辺地地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	昭和2年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		18.5	4.9	10.6	
降水量	平均 (mm)	656	653	1,309	
	基準年 (mm)	657	856	1,513	基準年 昭和52年
降水日数	平均 (日)	49	98	147	
	基準年 (日)	60	126	186	基準年 昭和52年
根 雪 期 間		12月29日～3月3日		65 日間	
無 霜 期 間		5月15日～10月13日		153 日間	
最 多 風 向		W	最大風速 (風向)	20m/s (W)	最多風向発生時期 11月～3月 最大風速発生年月日 令和3年1月7日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
野辺地地域気象観測所																
観測期間	昭和2年～令和6年															
最大日雨量 (mm)	183	H28.8.17	1/82	166	H19.11.12	1/45	165	S44.8.23	1/44	156	S41.10.13	1/32	144	H13.9.11	1/21	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	314	S10.8.21 ～S10.8.26	1/111	310	H14.8.7 ～H14.8.15	1/99	266	S19.11.30 ～S19.12.31	1/38	265	S2.12.18 ～S2.12.31	1/37	231	H19.11.10 ～H19.11.15	1/17	
最大連続干天日数(日)	59	S3.7.18 ～S3.9.14	1/315	59	S21.7.4 ～S21.8.31	1/315	52	H25.5.12 ～H25.7.2	1/158	42	S48.6.9 ～S48.7.20	1/40	41	S22.7.28 ～S22.9.6	1/35	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高(m)		備 考
	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
傾斜区分															
面積 (ha)	-	50.3	-	-	-	50.3	-	-	-	-	-	-	24.9	6.6	
比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及 びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
強グライ土壌強粘土還元型	2.5Y1/2・表土 2.5Y1/2・下層土	富む・表土 含む・下層土	なし	LiC	LiC	LiC	グライ層	39.2	水田 D30
礫層土壌地鉄盤層型	10YR4/2・表土 2.5Y4/2・下層土	含む・表土	富む	LiC	CL	LiC	なし	11.1	水田 J90
計								50.3	

2. 土地利用の状況

(令和7年10月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)					
平 内 町	50.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.3	土地登記簿面積

3. 土地所有の状況

(令和7年10月現在) (第4表-3)

区 分	所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積 (ha)		50.3	-	-	-	-	50.3	
受 益 者 数 (人)		27	-	-	-	-	27	
筆 数 (筆)		155	-	-	-	-	155	

第3節 水利状況

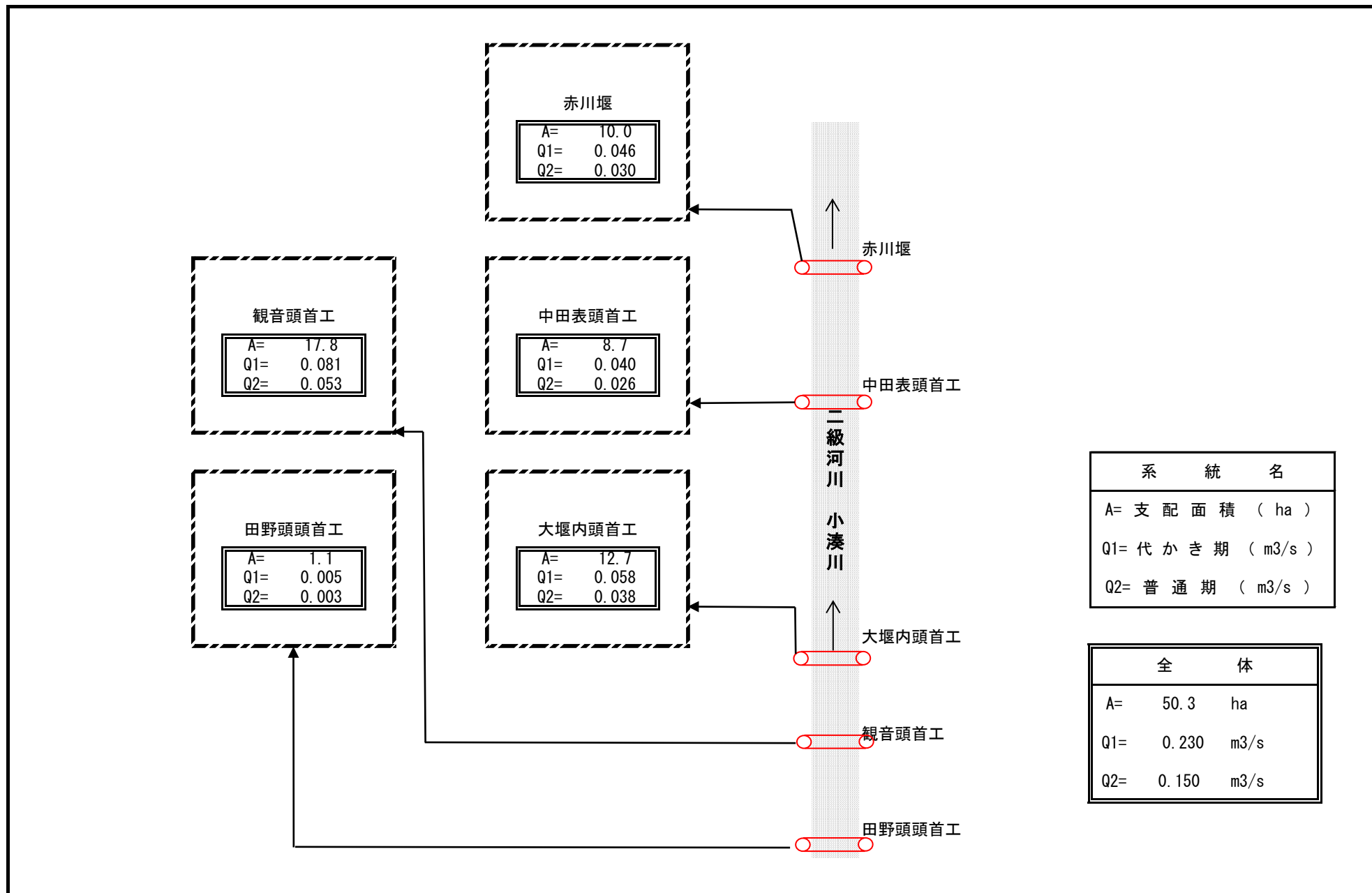
1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川小湊川を水源としている。また、地区内の水路は土水路及び製品で、前歴事業により敷設された製品に老朽化が見られ、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.5 参照)

現況用水系統模式図



系 統 名
A= 支配面積 (ha)
Q1= 代かき期 (m3/s)
Q2= 普通期 (m3/s)

全 体
A= 50.3 ha
Q1= 0.230 m3/s
Q2= 0.150 m3/s

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /s	備考
	500ha 以上		500~100ha		100ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井堰	—	—	—	—	5	50.3	5	50.3	—	—	5	0.332	0.332	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	5	50.3	5	50.3					0.332	()は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

項目 施設名	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は更新年	改修を必要 とする理由	備考
貯水池	—	—	—	—	—	—	
井堰	—	—	—	—	—	—	
自然取水口	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	
用水路	23	50.3	土水路、ベンチフリューム	5,144m	S48	機能低下	
その他	—	—	—	—	—	—	
計	23	50.3					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川小湊川水系小湊川に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどが土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図 (P.8 参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名	項目	排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
		500ha 以上		500 ~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
自然	排水路	—	—	—	—	1	25.1 (32.6)	1	25.1 (32.6)	0.361	0.361	
	水門	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
機械	排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)			
計		—	—	—	—	1	25.1 (32.6)	1	25.1 (32.6)	0.361	0.361	()は地区外含む

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

施設名	項目	施設又は箇所名数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は更新年	改修を必要とする理由	備考
自然	排水路	5	25.1	土水路	1,268m	S48	機能低下	
	水門	—	—	—	—	—	—	
機械	排水機	—	—	—	—	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	
計		5	25.1					

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

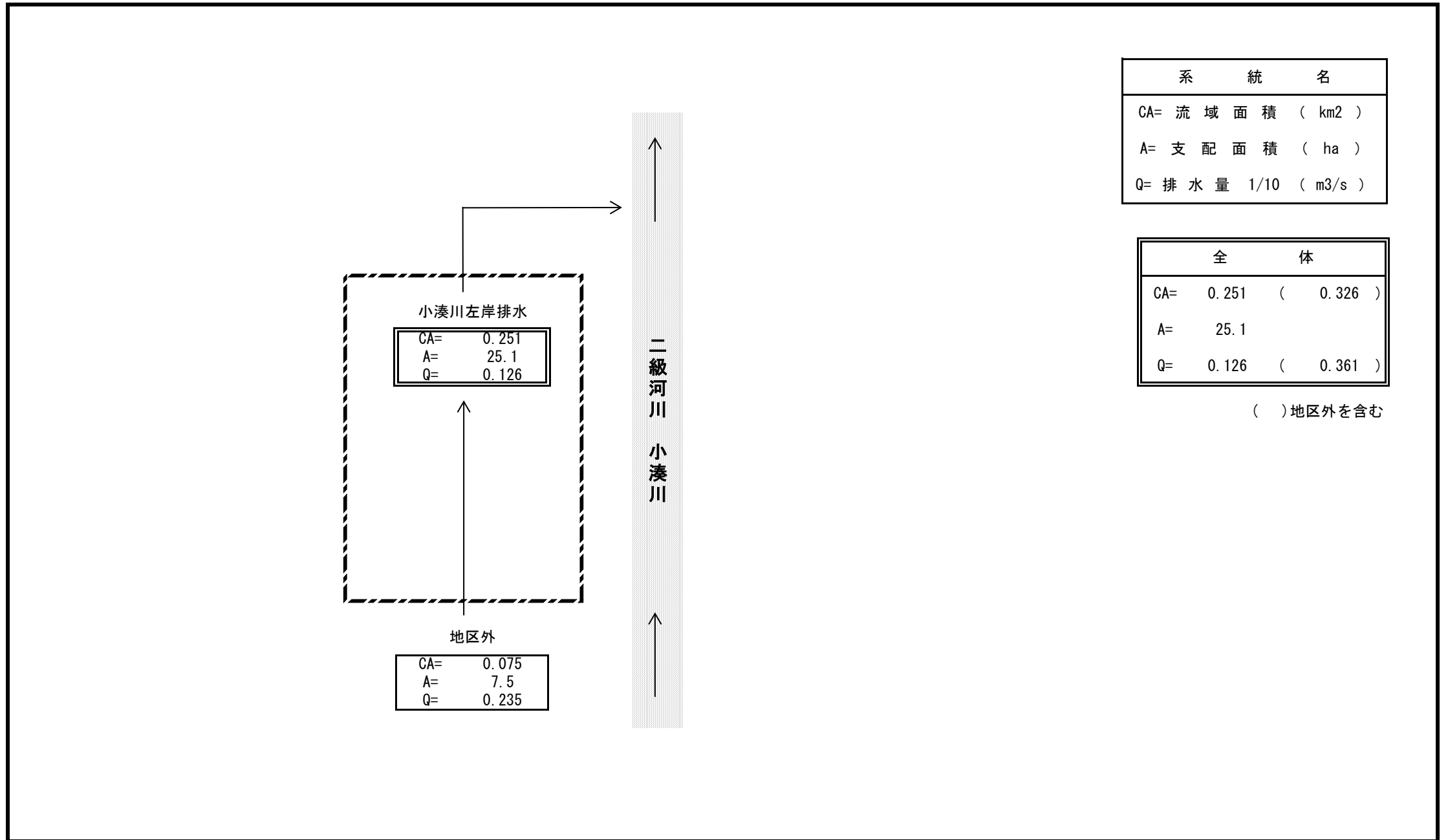
(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

4. 想定被害状況

該当なし

現況排水系統模式図



第 4 節 道 路 現 況

- 1. 道路概況 該当なし
- 2. 主要道路一覧表 該当なし

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年度国勢調査

(第7表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱供給水道業	運輸通信業	卸売小売業飲食店	金融保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
平内町	5,170	190	41	1,160	4	521	479	18	218	719	64	20	1,450	207	79	
計	5,170	190	41	1,160	4	521	479	18	218	719	64	20	1,450	207	79	
比率 (%)	100.0	3.7	0.8	22.4	0.1	10.1	9.3	0.3	4.2	13.9	1.2	0.4	28.0	4.0	1.5	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2020農林業センサスⅡ農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数

2020農林業センサス自給的はⅥ総農家等 2経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区分	農家総戸数(戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					専兼業別農家数(戸)			備考	
		例外規定の適用を受け るもの	経営耕地広狭別農家数(戸)										田	畑	樹園地	小計	草地	計	専業	兼業		
			0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家								第一種		第二種
市町村名	(戸)		0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	ha	田	畑	樹園地	小計	草地	計	専業	第一種	第二種	
平内町	285	-	15	23	16	11	19	16	14	13	13	145	2.51	0.60	0.00	3.11	0.14	3.25	63	75	58	販売農家 196戸
計	285	-	15	23	16	11	19	16	14	13	13	145	2.51	0.60	0.00	3.11	0.14	3.25	63	75	58	
比率 (%)	100.0	-	5.3	8.1	5.6	3.9	6.7	5.6	4.9	4.6	4.6	50.9	77.2	18.5	0.0	95.7	4.3	100.0	32.1	38.3	29.6	専兼業別農家数は2015農林業センサスより

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2015年世界農林業センサス Ⅱ農業経営体

2020年農林業センサス Ⅱ農業経営体14 販売目的の家畜等を飼養している

経営体数と飼養頭羽数

(第7表-3)

項目	動力農機具								主要家畜				備考
	トラクター		コンバイン		動力田植機		乗用型スピードスプレーヤー		乳用牛		肉用牛		
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	
市町村名													
平内町	-	-	-	-	-	-	-	-	203	3	x	7	x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。 (農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)
計	-	-	-	-	-	-	-	-	203	3	x	7	
100戸当たり数量(台、頭)									71				
利用戸数割合 (%)									1.1		46.7		

4. 主要作物作付状況

農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

(第7表-4)

市 町 村 名		平 内 町		作 付 率	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		1,480				
区 分		作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 率	備 考	
作 物 名		(ha)	当 たり 収 量			
			(kg/10a)	(%)		
水田	表作	水 稻	451	579	43.0	本地面積全体 1,415 ha
	裏作		-	-	-	
	小 計		451		43.0	
畑	春	そ の 他 作 物	964	-	68.1	田 1,050 ha 畑 365 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
			-	-	-	
	夏		-	-	-	
			-	-	-	
	作		-	-	-	
			-	-	-	
	秋 冬 作		-	-	-	
			-	-	-	
小 計		964		68.1		
果樹園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-	-	-	
計		1,415		100.0		
市町村別延作付率 (%)		100.0				

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V 販売農家、H22・H27・R2農産物統計 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	64	43	耕地	107	98	水 稻	78	70	乳用牛	100	83	トラクター	69	-	農業振興地域 昭和47年	A:令和2年
	専業農家数	75	-	田	97	87	小 麦	-	-	肉用牛	0	x	コンバイン	70	-	過疎地域指定 平成22年	(2020年世界 農林業セン サス)
	第一種兼業農家数	75	-	畑	252	276	大 豆	339	206	豚	x	x	動力田植機	62	-	振興山村指定地域 昭和45年	B:平成27年
	第二種兼業農家数	58	-	樹園地	-	-	その他 作物	108	99				乗用型ス ピードスプ レイヤー	-	-	特定農山村地域 平成5年	(2015年世界 農林業セン サス)
	農業従事者数	63	39	草地	94	63										特別豪雪地帯 昭和45年	C:平成22年
変 化 の 理 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稲の減少は転作奨励による。						本項目は、令和2年度農林業センサスより調査項目対象外となった為、データ無し。			(2010年世界農林業センサス)	

x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。
(農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農業用排水路等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入拡大を図り、これと併せて担い手への農地集積・集約化を促進することで、農業競争力の強化を図る。

なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

2. 事業別面積

(第8表)

事業目的	土地利用区分 水田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草畑 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)		
用水改良	50.3	—	—	—	—	—	50.3	
排水改良	(25.1)	—	—	—	—	—	(25.1)	()は用水改良と重複で内数
計	50.3	—	—	—	—	—	50.3	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

区 分	土地利用区分 水田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	50.3	—	—	—	—	—	—	—	—	50.3		
計 画	50.3	—	—	—	—	—	—	—	—	50.3		

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考																							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																								
			現 況	水稲 + 野菜	田				← 水稲 →												← 水稲 →												← 水稲 →													← 飼料用米 →												← ばれいしょ →				
畑																																																														
計 画	水稲 + 野菜	田				← 水稲 →												← 水稲 →												← 水稲 →												← 飼料用米 →												← ばれいしょ →								
		畑																																																												

4. 生産計画

(第9表-3)

土地 利用 区分	項 目	作 物 名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考	
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 たり 収 量 増 加		
水 田	表作	水 稻	39.6	39.5	△0.1	82.7%	81.1%	583	600	17	231	237	6	△ 0.1	6	作付減	
			-	(39.5)	-	-	-	583	600	17	231	237	6	-	6	水管理改良	
		飼 料 用 米	8.2	8.9	0.7	17.1%	18.3%	583	600	17	48	53	5	0.7	5	作付増	
			-	(8.2)	-	-	-	583	600	17	48	49	1	-	1	水管理改良	
		ばれいしょ	0.1	0.3	0.2	0.2%	0.6%	1,697	1,952	255	2	6	4	0.2	4	作付増	
			-	(0.1)	-	-	-	1,697	1,952	255	2	2	-	-	-	田畑輪換	
普通畑																	
果 樹 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
牧 草 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
茶 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合 計			47.9	48.7	0.8	100.0%	100.0%	/	/	/	/	/	/	/	面積は本地面積		

5. 労働改善計画 該当なし

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

昭和52年

2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月10日 ~ 9月1日 (代かき期間 5月10日 ~ 5月19日)

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 17 参照)

4. 計画用水量

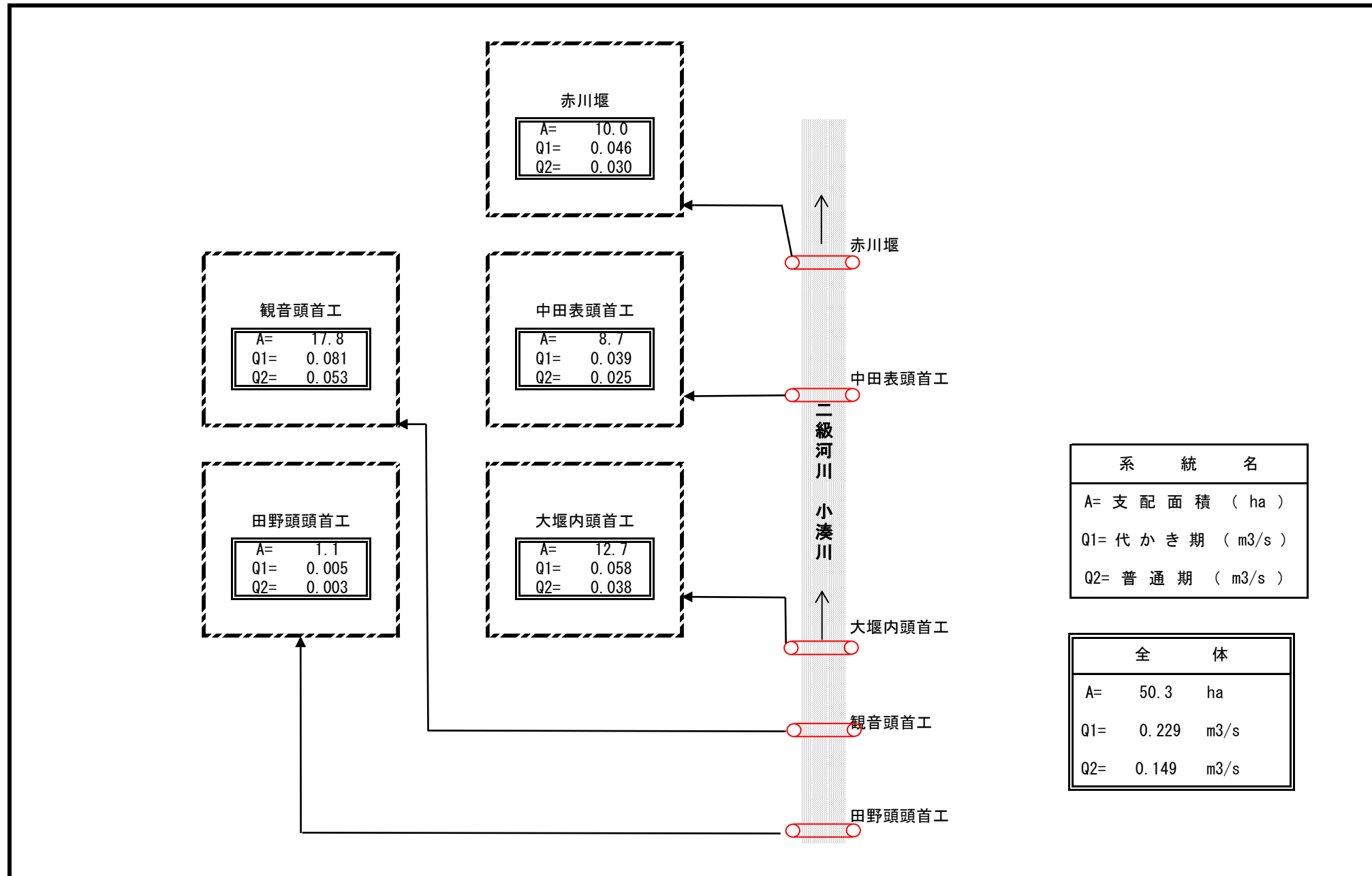
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい		面 積 (ha)	水 田 畑 利 用			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考	
			普通期	代かき期		一 日 当 た り 計 画 平 均 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計 画 平 均 水 量 (mm/日)	面 積 (ha)			平 均	最 大		
			計 画 平 均 水 量 (mm/日)	計 画 平 均 水 量 (mm/日)															
田野頭頭首工	農業用水	1.1	21.8	140.0	1.1	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 普 0.004 0.003	15	0.003	0.005	地区内のみ	
観音頭首工	農業用水	17.8	21.8	140.0	17.5	5	5	0.3	-	-	-	-	-	代 普 0.069 0.045	15	0.053	0.081	地区内のみ	
大堰内頭首工	農業用水	12.7	21.8	140.0	12.7	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 普 0.049 0.032	15	0.038	0.058	地区内のみ	
中田表頭首工	農業用水	8.7	21.8	140.0	8.7	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 普 0.033 0.021	15	0.025	0.039	地区内のみ	
赤川堰	農業用水	10.0	21.8	140.0	10.0	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 普 0.039 0.026	15	0.030	0.046	地区内のみ	
計		50.3			50.0			0.3			-								

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	現況利用可能水量				不足水量		水源依存量		水源工種	備考			
	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量			全不足 水量	水源名	水 量
	a (千m ³)	b (千m ³)	c = a - b (千m ³)	d = c / (1 - α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g = c - f (千m ³)			h = d - e (千m ³)		(千m ³)
既水田補水	22	-	22	26	小湊川	26	22	-	-	-	-	既設用水路	α = 15%
	352	-	352	414	小湊川	414	352	-	-	-	-	既設用水路	α = 15%
	251	-	251	295	小湊川	295	251	-	-	-	-	既設用水路	α = 15%
	170	-	170	200	小湊川	200	170	-	-	-	-	既設用水路	α = 15%
	198	-	198	233	小湊川	233	198	-	-	-	-	既設用水路	α = 15%
計	993	-	993	1,168		1,168	993	-	-		-		

(2) 用水対策

- (ア) 貯水池 該当なし
- (イ) 井堰及び自然取水口 該当なし
- (ウ) 揚水機 該当なし
- (エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
支線用水路	50.3	0.121	2,192	コンクリート直壁型	
小用水路	(50.3)	(0.121)	2,952	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計	50.3		5,144		

- (オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 日雨量 123.5mm (1/10確率雨量)
- 2. 計画排水方式 排水方式：自然排水 許容湛水：なし
- 3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 20 参照)
- 4. 計画排水量

(第 11 表 - 1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)	流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による直接単 位流出量(m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考
		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
										自然排水	機械排水			
小湊川左岸排水	25.1	0.075	0.251	123.5	-	1.438	-	-	-	0.361	-	-	1.438	
計	25.1	0.075	0.251						-	0.361				

5. 排水対策

- (1) 排水水門 該当なし
- (2) 排水機 該当なし
- (3) 排水路

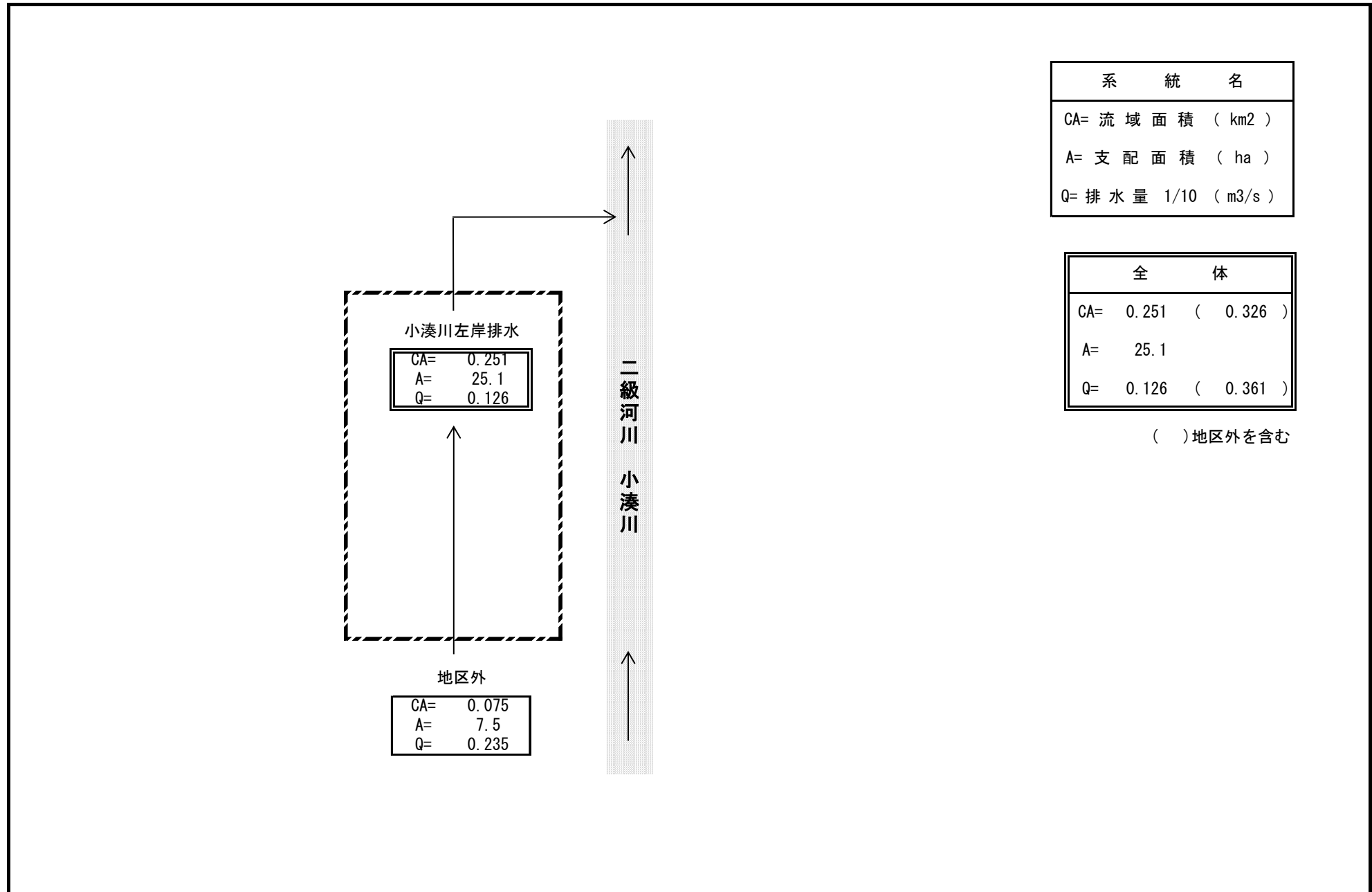
(第 11 表 - 4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
小排水路	0.326	25.1	0.146~0.361	1,268	排水溝	小湊川	-	-	
計	0.326	25.1		1,268					

- (4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



第 5 節 道路計画

1. 道 路 該当なし
2. 路線配置図 該当なし

第 6 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし
2. 計画洪水量及び調節量 該当なし
3. 貯水池 該当なし
4. 洪水調節検討
 - (1) 河川改修計画との関係 該当なし
 - (2) 洪水調整が下流に及ぼす影響 該当なし
 - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし
5. 管理計画
 - (1) 管理機構 該当なし
 - (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
 - (3) 洪水調節要領 該当なし

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

- (1) 区画の形状 該当なし
- (2) 表土扱い 該当なし
- (3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

- (1) 暗渠排水 該当なし
- (2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 農地保全

- (1) 防災林 該当なし
- (2) 排水工 該当なし
- (3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

- (1) 計画基準雨量 該当なし
- (2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路

(第 15 表-4)

項目 水路名	かんがい 面積 (ha)	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開きよ	トンネル その他	計				
支用水路	50.3	0.121	2,192	-	2,192	ベンチフ リユーム	1/200~1/3500	-	
小用水路	(50.3)	0.092	2,952	-	2,952	ベンチフ リユーム	1/100~1/900	-	かんがい面積及び通水量は 支線用水路に含まれる。
計	50.3		5,144	-	5,144				

第 2 節 排水施設

- 1. 排水水門 該当なし
- 2. 排水機 該当なし
- 3. 排水路

(第 16 表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開きよ	トンネル その他	計				
小排水路	25.1	0.146~0.361	1,268	-	1,268	排水溝	1/200	-	
計	25.1		1,268	-	1,268				

- 4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

- 1. 道路の総括表 該当なし
- 2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1)頭首工 該当なし

(2)導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水 該当なし

(2)心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全

(1)防災林 該当なし

(2)排水路 該当なし

(3)浸食防止工 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

2. 堤体補強施設

(1)法面保護施設 該当なし

(2)漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年度

完了 令和13年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路の一部に生態系に配慮した区間を設け、水生生物の棲み処となる場所を確保するとともに、小動物等が転落した際に脱出が可能となるよう脱出用スロープを設置する。

第 9 章 換地計画の概要

- | | |
|---------------------------|------|
| 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 | 該当なし |
| 第 2 節 換地区の設定 | |
| 1. 換地区の名称・所在・面積 | 該当なし |
| 2. 換地区を設定する理由 | 該当なし |
| 第 3 節 換地計画樹立の基本方針 | |
| 1. 従前の土地の地積の基準 | 該当なし |
| 2. 用途別予定地積 | 該当なし |
| 3. 農用地集団化の方針 | 該当なし |
| 4. 非農用地換地の手法 | 該当なし |
| 第 4 節 土地の評価及び清算の方法 | |
| 1. 評価の方法 項目別配点方式 | 該当なし |
| 2. 清算の方法 比例地積清算方式 | 該当なし |
| 第 5 節 換地計画樹立の年度計画 | 該当なし |
| 第 6 節 換地処分の特則 | 該当なし |

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 2 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費		329,000	令和 7 年度単価
事 務 的 経 費		16,450	
計		345,450	
関 連 事 業 (参 考)			該当なし
	計		

第 11 章 効 用

(第 2 3 表)

区 分	項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
	作 物 生 産 効 果	34,506	—	食料の安定供給の確保に関する効果
	営 農 経 費 節 減 効 果	△ 15,272	—	食料の安定供給の確保に関する効果
	維 持 管 理 費 節 減 効 果	447	4,168	食料の安定供給の確保に関する効果
	国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	6,940	—	その他の効果
	計	26,621	4,168	令和 7 年度単価

<参考>

総 費 用 : 313,005 千円
 総 便 益 額 : 543,312 千円
 総費用総便益比 : 1.73

第 12 章 関連する事業 該当なし

(第 24 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種	小湊地区経営体育成基盤整備事業 (暗 渠 排 水)	青 森 県	15.6	・暗渠排水工 15.6ha

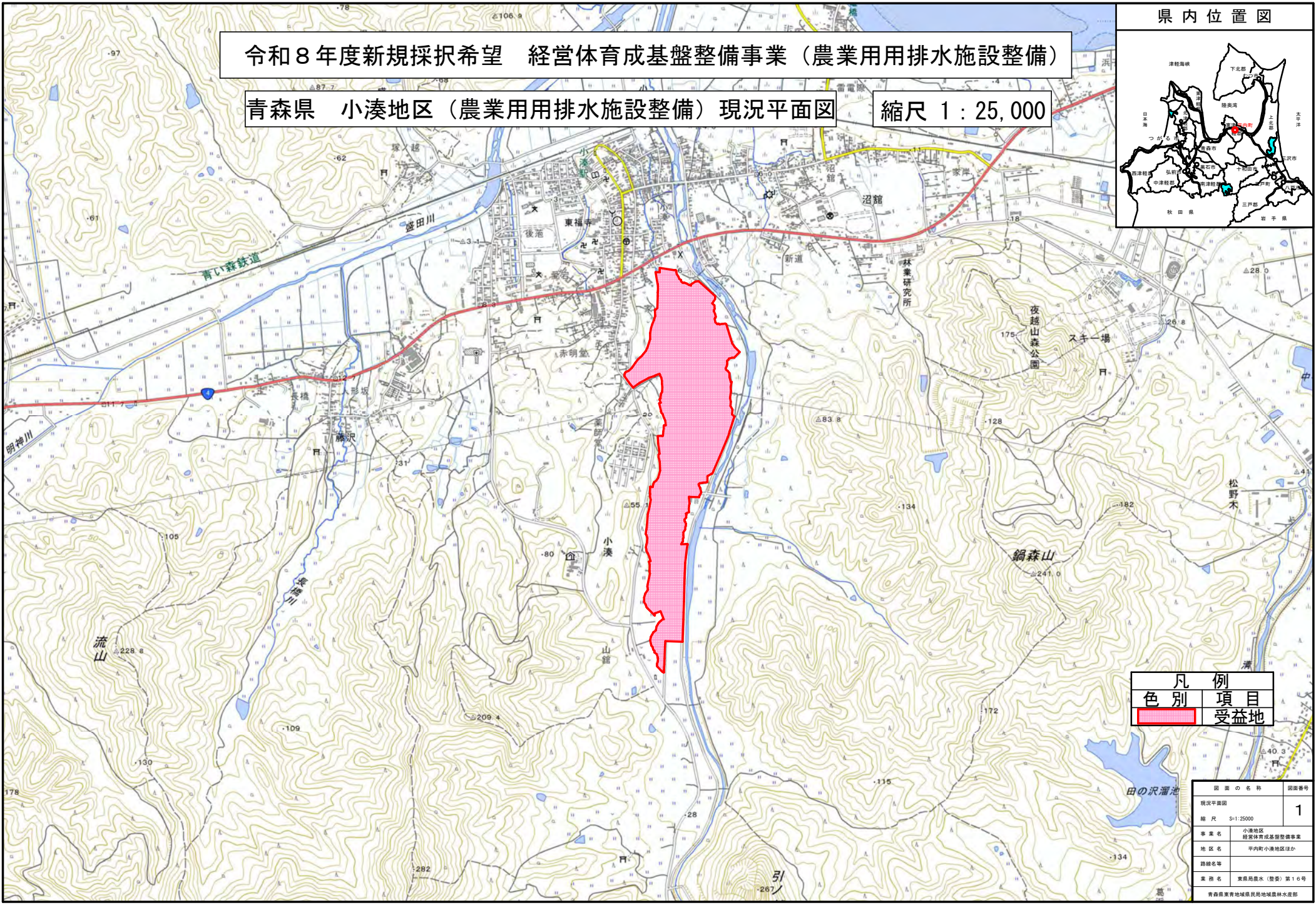
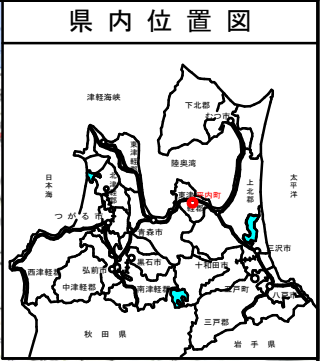
第 13 章 現況・計画図面

- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 //
- 3. 主要構造図 //

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

青森県 小湊地区（農業用排水施設整備）現況平面図

縮尺 1 : 25,000



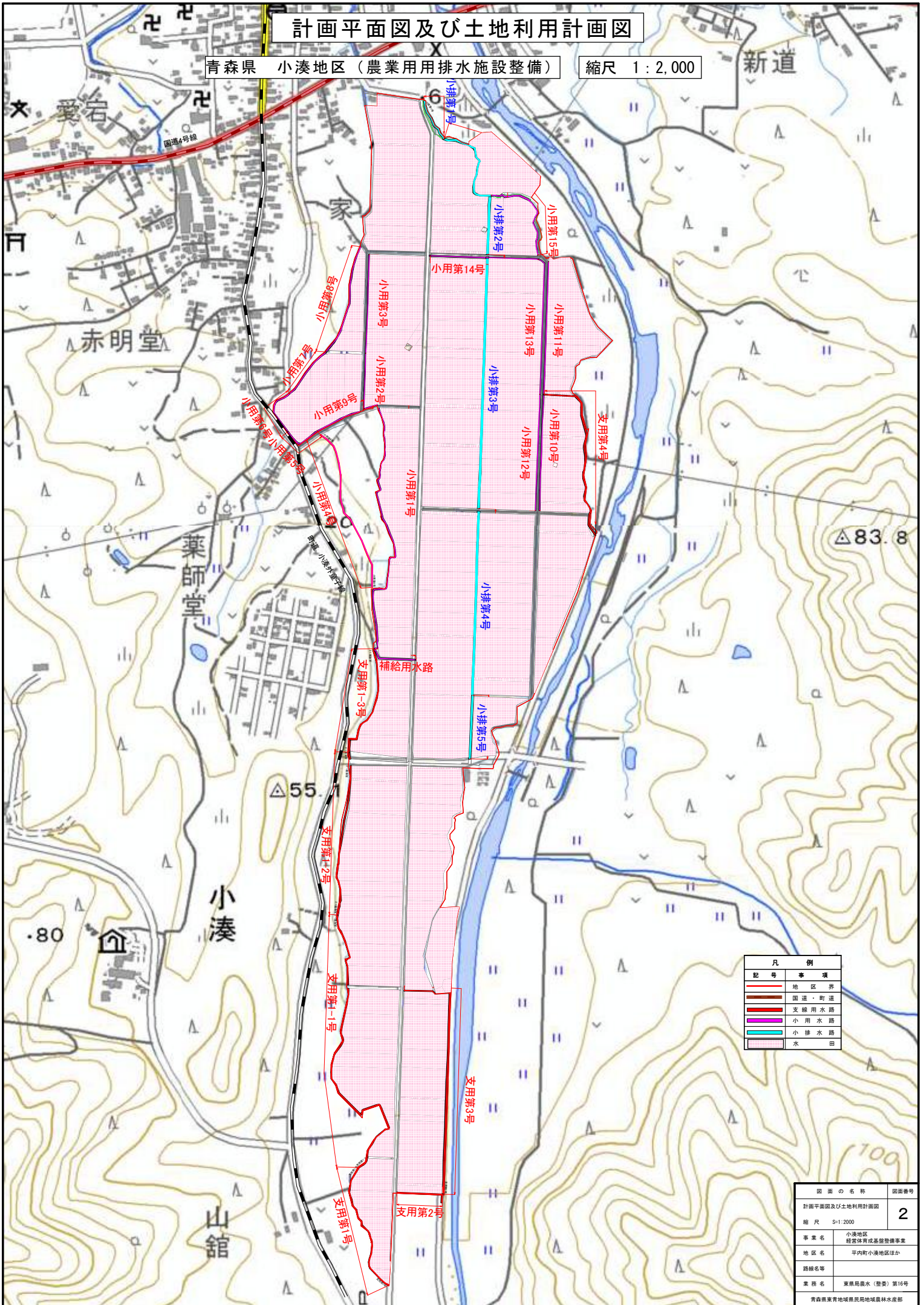
凡例	項目
色別	受益地

図面の名称	図面番号
現況平面図	1
縮尺	S=1:25000
事業名	小湊地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	平内町小湊地区ほか
路線名等	
業種名	東奥局農水（整委）第16号
青森県東青地域農林局地域農林水産部	

計画平面図及び土地利用計画図

青森県 小湊地区（農業用排水施設整備）

縮尺 1:2,000

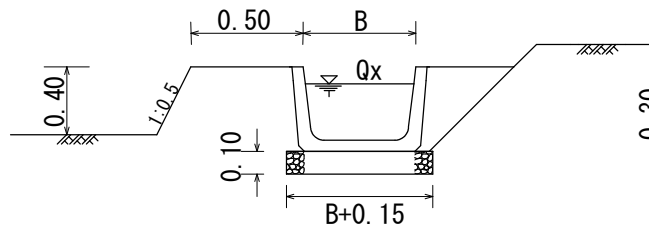


凡例	
記号	事項
	地区界
	国道・町道
	支用排水路
	小用水路
	小排水路
	水田

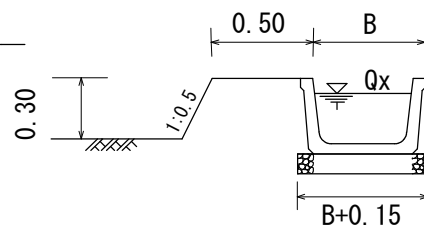
図面の名称	図面番号
計画平面図及び土地利用計画図	2
縮尺	S=1:2000
事業名	小湊地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	平内町小湊地区ほか
路線名等	
業務名	東根町農水（整安）第16号
青森県東青地域農林局地域農林水産部	

主要構造図

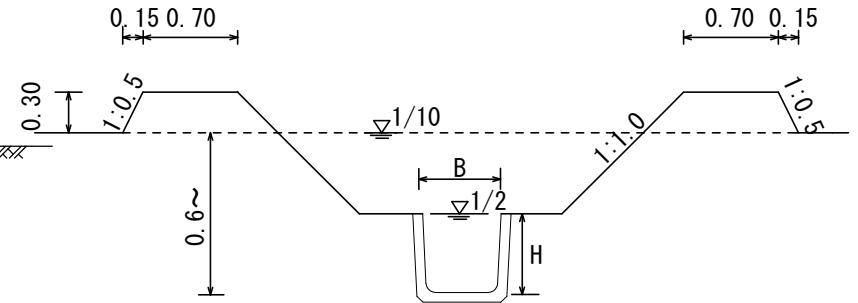
支線用水路



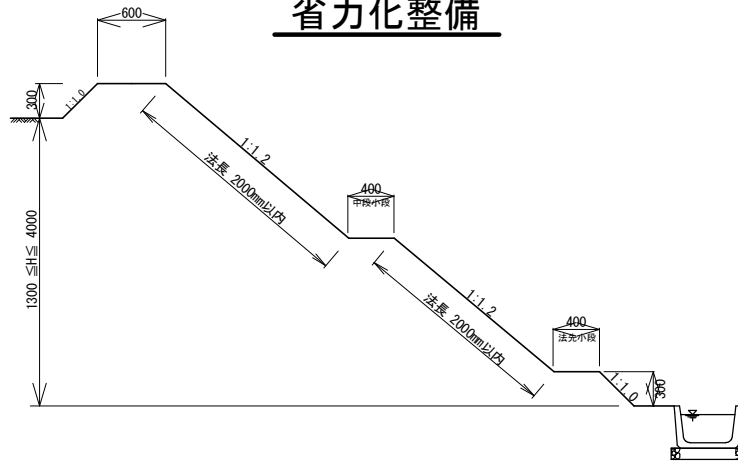
小用水路



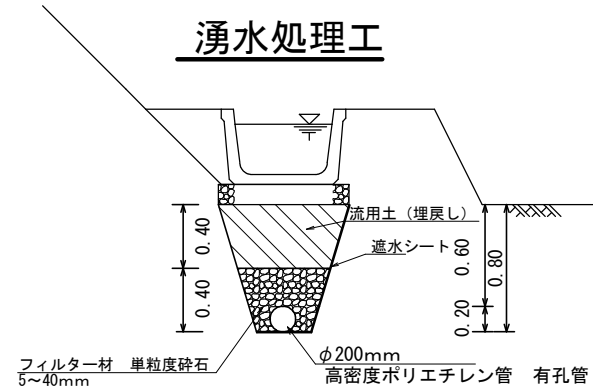
小排水路



省力化整備



湧水処理工



図面の名称	図面番号
主要構造図	3
縮尺	No Scale
事業名	小湯地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	甲内町小湯地区ほか
路線名等	
業務名	東農局農水(整委)第16号
青森県東青地域農林局地域農林水産部	

県営小湊地区土地改良事業計画書

(経営体育成基盤整備事業 (暗渠排水))

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地 形、土 壤 及 び 浸 食 の 程 度	3
2.	土 地 利 用 の 状 況	4
3.	土 地 所 有 の 状 況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	5
3.	河 川 状 況	5
4.	想 定 被 害 状 況	5
第 4 節	道 路 現 況	5
1.	道 路 概 況	5
2.	主 要 道 路 一 覧 表	5
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	6
1.	産 業 別 就 業 人 口	6
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 専 兼 業 別 農 家 数	6
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	6
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	7
5.	農 業 の 動 向	8
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	8
第 4 章	一 般 計 画	9
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	9
1.	要 旨	9
2.	事 業 別 面 積	9

第 2 節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	9
1.	営 農 計 画 の 概 要	9
2.	土 地 利 用 区 分	9
3.	作 付 方 式	10
4.	生 産 計 画	11
5.	労 働 改 善 計 画	12
第 3 節	用 水 計 画	13
1.	計 画 基 準 年	13
2.	計 画 かんがい方式	13
3.	計 画 用 水 系 統	13
4.	計 画 用 水 量	13
5.	水 源 計 画	13
第 4 節	排 水 計 画	13
1.	計 画 基 準 雨 量	13
2.	計 画 排 水 方 式	13
3.	計 画 排 水 系 統	13
4.	計 画 排 水 量	13
5.	排 水 対 策	13
6.	た ん 水 検 討	14
第 5 節	道 路 計 画	14
1.	道 路	14
2.	路 線 配 置 図	14
第 6 節	洪 水 調 節 計 画	14
1.	計 画 基 準 雨 量	14
2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	14
3.	貯 水 池	14
4.	洪 水 調 節 検 討	14
5.	管 理 計 画	14
第 7 節	農 用 地 整 備 計 画	15
1.	区 画 整 理	15
2.	暗 渠 排 水	15

3.	客	土	15	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	17		
4.	農	地	15	第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	17		
第 8 節	老 朽 た め 池 改 修 計 画		15	第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	17		
1.	洪 水 吐 改 修 計 画		15	第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	18		
2.	堤 体 補 強 計 画		15	第 1 節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	18		
3.	取 水 施 設 改 修 計 画		15	第 2 節	換 地 区 の 設 定	18		
第 5 章	主 要 工 事 計 画		16	1.	換 地 区 の 名 称 ・ 所 在 ・ 面 積	18		
第 1 節	用 水 施 設		16	2.	換 地 区 を 設 定 す る 理 由	18		
1.	貯	水	池	16	第 3 節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	18	
2.	頭	首	工	16	1.	従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準	18	
3.	揚	水	機	16	2.	用 途 別 予 定 地 積	18	
4.	用	水	路	16	3.	農 用 地 集 団 化 の 方 針	18	
第 2 節	排 水 施 設		16	4.	非 農 用 地 換 地 の 方 法	18		
1.	排	水	水	門	16	第 4 節	土 地 の 評 価 及 び 清 算 の 方 法	18
2.	排	水	機	16	1.	評 価 の 方 法	18	
3.	排	水	路	16	2.	清 算 の 方 法	18	
4.	そ の 他 排 水 施 設		16	第 5 節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	18		
第 3 節	道	路	16	第 6 節	換 地 処 分 の 時 期 に 関 す る 特 則	18		
1.	道 路 の 総 括 表		16	第 1 0 章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	19		
2.	道 路 主 要 構 造 物		16	第 1 1 章	効	用	19	
第 4 節	洪 水 調 節 施 設		16	第 1 2 章	関 連 す る 事 業	20		
1.	貯	水	池	16	第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	20	
2.	頭 首 工 及 び 導 水 路		16					
第 5 節	農 用 地 整 備 施 設		17					
1.	区 画 整 理		17					
2.	暗 渠 排 水		17					
3.	客	土	17					
4.	除	礫	17					
5.	農	地	保	全	17			
第 6 節	老 朽 た め 池 改 修 施 設		17					
1.	貯	水	池	17				
2.	堤 体 補 強 施 設		17					

第 1 章 目 的

本地区は、平内町を流れる二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯で、水稻を中心とした営農が行われている。

水田の区画は前歴事業により30aに整備されているが、水田の一部エリアでは排水不良が見られ、大型機械の作業効率が悪く、通作や維持管理等に苦慮している。

このため、本事業によりほ場へ暗渠排水を敷設することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積を加速化し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
東津軽郡平内町

第 2 節 地 積

(令和7年10月現在) (第2表)

市町村名 \ 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
平 内 町	15.6	-	-	-	-	15.6	土地登記簿面積

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	野辺地地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	昭和2年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		18.5	4.9	10.6	
降水量	平均 (mm)	656	653	1,309	
	基準年 (mm)	657	856	1,513	基準年 昭和52年
降水日数	平均 (日)	49	98	147	
	基準年 (日)	60	126	186	基準年 昭和52年
根 雪 期 間		12月29日～3月3日		65 日間	
無 霜 期 間		5月15日～10月13日		153 日間	
最 多 風 向		W	最大風速 (風向)	20m/s (W)	最多風向発生時期 11月～3月 最大風速発生年月日 令和3年 1月 7日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
野辺地地域気象観測所																
観測期間	昭和2年～令和6年															
最大日雨量 (mm)	183	H28. 8. 17	1/82	166	H19. 11. 12	1/45	165	S44. 8. 23	1/44	156	S41. 10. 13	1/32	144	H13. 9. 11	1/21	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	314	S10. 8. 21 ～S10. 8. 26	1/111	310	H14. 8. 7 ～H14. 8. 15	1/99	266	S19. 11. 30 ～S19. 12. 31	1/38	265	S2. 12. 18 ～S2. 12. 31	1/37	231	H19. 11. 10 ～H19. 11. 15	1/17	
最大連続干天日数(日)	59	S3. 7. 18 ～S3. 9. 14	1/315	59	S21. 7. 4 ～S21. 8. 31	1/315	52	H25. 5. 12 ～H25. 7. 2	1/158	42	S48. 6. 9 ～S48. 7. 20	1/40	41	S22. 7. 28 ～S22. 9. 6	1/35	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高(m)		備 考
	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
傾斜区分															
面積 (ha)	-	15.6	-	-	-	15.6	-	-	-	-	-	-	23.1	6.6	
比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及 びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
強グライ土壌強粘土還元型	2.5Y1/2・表土 2.5Y1/2・下層土	富む・表土 含む・下層土	なし	LiC	LiC	LiC	グライ層	9.1	水田 D30
礫層土壌地鉄盤層型	10YR4/2・表土 2.5Y4/2・下層土	含む・表土	富む	LiC	CL	LiC	なし	6.5	水田 J90
計								15.6	

2. 土地利用の状況

(令和7年10月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)					
平 内 町	15.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.6	土地登記簿面積

3. 土地所有の状況

(令和7年10月現在) (第4表-3)

区 分	所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積 (ha)		15.6	-	-	-	-	15.6	
受 益 者 数 (人)		13	-	-	-	-	13	
筆 数 (筆)		44	-	-	-	-	44	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 該当なし

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

4. 想定被害状況 該当なし

第 4 節 道路現況

1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし

4. 主要作物作付状況

農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

(第7表-4)

市 町 村 名		平 内 町		作 付 率	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		1,480				
区 分		作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 率	備 考	
作 物 名		(ha)	当 たり 収 量			
			(kg/10a)	(%)		
水田	表作	水 稻	451	579	43.0	本地面積全体 1,415 ha
	裏作		-	-	-	
	小 計		451		43.0	
畑	春	そ の 他 作 物	964	-	68.1	田 1,050 ha 畑 365 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
			-	-	-	
	夏		-	-	-	
			-	-	-	
	作		-	-	-	
			-	-	-	
	秋 冬 作		-	-	-	
			-	-	-	
小 計		964		68.1		
果 樹 園	そ の 他 果 樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小 計		-		-	
計		1,415		100.0		
市町村別延作付率 (%)		100.0				

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V 販売農家、H22・H27・R2農産物統計 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	64	43	耕地	107	98	水 稻	78	70	乳用牛	100	83	トラクター	69	-	農業振興地域 昭和47年	A: 令和2年
	専業農家数	75	-	田	97	87	小 麦	-	-	肉用牛	0	x	コンバイン	70	-	過疎地域指定 平成22年	(2020年世界 農林業セン サス)
	第一種兼業農家数	75	-	畑	252	276	大 豆	339	206	豚	x	x	動力田植機	62	-	振興山村指定地域 昭和45年	B: 平成27年
	第二種兼業農家数	58	-	樹園地	-	-	その他 作物	108	99				乗用型ス ピードスプ レイヤー	-	-	特定農山村地域 平成5年	(2015年世界 農林業セン サス)
	農業従事者数	63	39	草地	94	63										特別豪雪地帯 昭和45年	C: 平成22年
変 化 の 理 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稻の減少は転作奨励による。						本項目は、令和2年度農林業センサスより調査項目対象外となった為、データ無し。			(2010年世界 農林業セン サス)	

x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。
(農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場への暗渠排水敷設を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入拡大を図り、これと併せて担い手への農地集積・集約化を促進することで、農業競争力の強化を図る。

なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

2. 事業別面積

(第 8 表)

土地利用区分	水田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草畑 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)		
事業目的								
暗渠排水	15.6	—	—	—	—	—	15.6	
計	15.6	—	—	—	—	—	15.6	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第 9 表-1)

土地利用区分	水田 (ha)	畑					小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
区 分												
現 況	15.6	—	—	—	—	—	15.6	—	—	—	15.6	
計 画	15.6	—	—	—	—	—	15.6	—	—	—	15.6	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考																																																																																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																				
			現 況	水稲 + 野菜	田				← 水稲 →															← 水稲 →																← 水稲 →															← 飼料用米 →															← 飼料用米 →															← ばれいしょ →															← ばれいしょ →															← ばれいしょ →							
畑																																																																																																																										
計 画	水稲 + 野菜	田				← 水稲 →															← 水稲 →															← 水稲 →															← 飼料用米 →															← 飼料用米 →															← ばれいしょ →															← ばれいしょ →															← ばれいしょ →											
		畑																																																																																																																								

4. 生産計画

(第9表-3)

土地 利用 区分	項 目	作 物 名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考	
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 たり 収 量 増 加		
水 田	表作	水 稻	12.8	12.8	-	86.5%	84.8%	583	618	35	75	79	4	0.0	4	作付減	
			-	(12.8)	-	-	-	583	618	35	75	79	4	-	4	乾田化	
		飼 料 用 米	1.9	2.0	0.1	12.8%	13.2%	583	618	35	11	12	1	0.1	1	作付増	
			-	(1.9)	-	-	-	583	618	35	11	12	1	-	1	乾田化	
		ばれいしょ	0.1	0.3	0.2	0.7%	2.0%	1,697	1,901	204	2	6	4	0.2	4	作付増	
			-	(0.1)	-	-	-	1,697	1,901	204	2	2	-	-	-	乾田化	
普通畑																	
果 樹 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
牧 草 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
茶 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合 計			14.8	15.1	0.3	100.0%	100.0%	/	/	/	/	/	/	/	/	面積は本地面積	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備 考
			区 分	現 況	計 画	増 減	
水田	水 稻	12.6	人 力	28.0	28.0	-	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機 械 力	5.8	5.1	△0.7	
	計	12.6					
合計		12.6					面積は本地面積

第 3 節 用水計画

- | | |
|---------------|------|
| 1. 計画基準年 | 該当なし |
| 2. 計画かんがい方式 | 該当なし |
| 3. 計画用水系統 | 該当なし |
| 4. 計画用水量 | |
| (1) かんがい用水 | 該当なし |
| (2) 営農飲雑用水 | 該当なし |
| 5. 水源計画 | |
| (1) 水利用計画 | 該当なし |
| (2) 用水対策 | |
| (ア) 貯水池 | 該当なし |
| (イ) 井堰及び自然取水口 | 該当なし |
| (ウ) 揚水機 | 該当なし |
| (エ) 用水路 | 該当なし |
| (オ) その他の水源施設 | 該当なし |
| (3) 水温水質 | 該当なし |

第 4 節 排水計画

- | | |
|-----------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画排水方式 | 該当なし |
| 3. 計画排水系統 | 該当なし |
| 4. 計画排水量 | 該当なし |
| 5. 排水対策 | |
| (1) 排水水門 | 該当なし |

(2) 排水機	該当なし
(3) 排水路	該当なし
(4) その他	該当なし
6. たん水検討	該当なし
第 5 節 道路計画	
1. 道 路	該当なし
2. 路線配置図	該当なし
第 6 節 洪水調節計画	
1. 計画基準雨量	該当なし
2. 計画洪水量及び調節量	該当なし
3. 貯水池	該当なし
4. 洪水調節検討	
(1) 河川改修計画との関係	該当なし
(2) 洪水調整が下流に及ぼす影響	該当なし
(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討	該当なし
5. 管理計画	
(1) 管理機構	該当なし
(2) ダム管理操作上の各種基準	該当なし
(3) 洪水調節要領	該当なし

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

- (1) 区画の形状 該当なし
- (2) 表土扱い 該当なし
- (3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第 14 表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地 下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備考
本暗渠	9.1	強グライ土壌強粘土還元型	50	5.8	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
	6.5	礫層土壌地鉄盤層型	50	5.8	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
計	15.6						

- (2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 農地保全

- (1) 防災林 該当なし
- (2) 排水工 該当なし
- (3) 浸食(崩壊)防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

- (1) 計画基準雨量 該当なし
- (2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路 該当なし

第 2 節 排水施設

- 1. 排水水門 該当なし
- 2. 排水機 該当なし
- 3. 排水路 該当なし
- 4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道路

- 1. 道路の総括表 該当なし
- 2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路
 - (1) 頭首工 該当なし
 - (2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第19表-2-1)

項目 区分	面積 (ha)	集水渠吸 水 渠										集水渠出口以下の排水施設			備考
		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	間隔 (m/ha)	
本暗渠	15.6	1/400	硬質ポリ管	φ100～	83	1/400	硬質ポリ管	φ50～	0.6	10	920	小排水路	排水溝	100	

(2)心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全

(1)防災林 該当なし

(2)排水路 該当なし

(3)浸食防止工 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

2. 堤体補強施設

(1)法面保護施設 該当なし

(2)漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年度

完了 令和13年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路の一部に生態系に配慮した区間を設け、水生生物の棲み処となる場所を確保するとともに、小動物等が転落した際に脱出が可能となるよう脱出用スロープを設置する。

第 9 章 換地計画の概要

- | | |
|---------------------------|------|
| 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 | 該当なし |
| 第 2 節 換地区の設定 | |
| 1. 換地区の名称・所在・面積 | 該当なし |
| 2. 換地区を設定する理由 | 該当なし |
| 第 3 節 換地計画樹立の基本方針 | |
| 1. 従前の土地の地積の基準 | 該当なし |
| 2. 用途別予定地積 | 該当なし |
| 3. 農用地集団化の方針 | 該当なし |
| 4. 非農用地換地の手法 | 該当なし |
| 第 4 節 土地の評価及び清算の方法 | |
| 1. 評価の方法 項目別配点方式 | 該当なし |
| 2. 清算の方法 比例地積清算方式 | 該当なし |
| 第 5 節 換地計画樹立の年度計画 | 該当なし |
| 第 6 節 換地処分の特則 | 該当なし |

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 22 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費		79,000	令和 7 年度単価
事 務 的 経 費		3,950	
計		82,950	
関 連 事 業 (参 考)			該当なし
	計		

第 11 章 効 用

(第 23 表)

区 分	項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
	作 物 生 産 効 果	2,641	2,723	食料の安定供給の確保に関する効果
	営 農 経 費 節 減 効 果	8,566	8,566	食料の安定供給の確保に関する効果
	維 持 管 理 費 節 減 効 果	—	—	食料の安定供給の確保に関する効果
	国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	510	—	その他の効果
	計	11,717	11,289	令和 7 年度単価

<参考>

総 費 用 : 105,896 千円
 総 便 益 額 : 209,137 千円
 総費用総便益比 : 1.97

第 12 章 関連する事業 該当なし

(第 24 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種	小湊地区経営体育成基盤整備事業 (農業用排水施設整備)	青 森 県	50.3	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路工 5,144m ・排水路工 1,268m

第 13 章 現況・計画図面

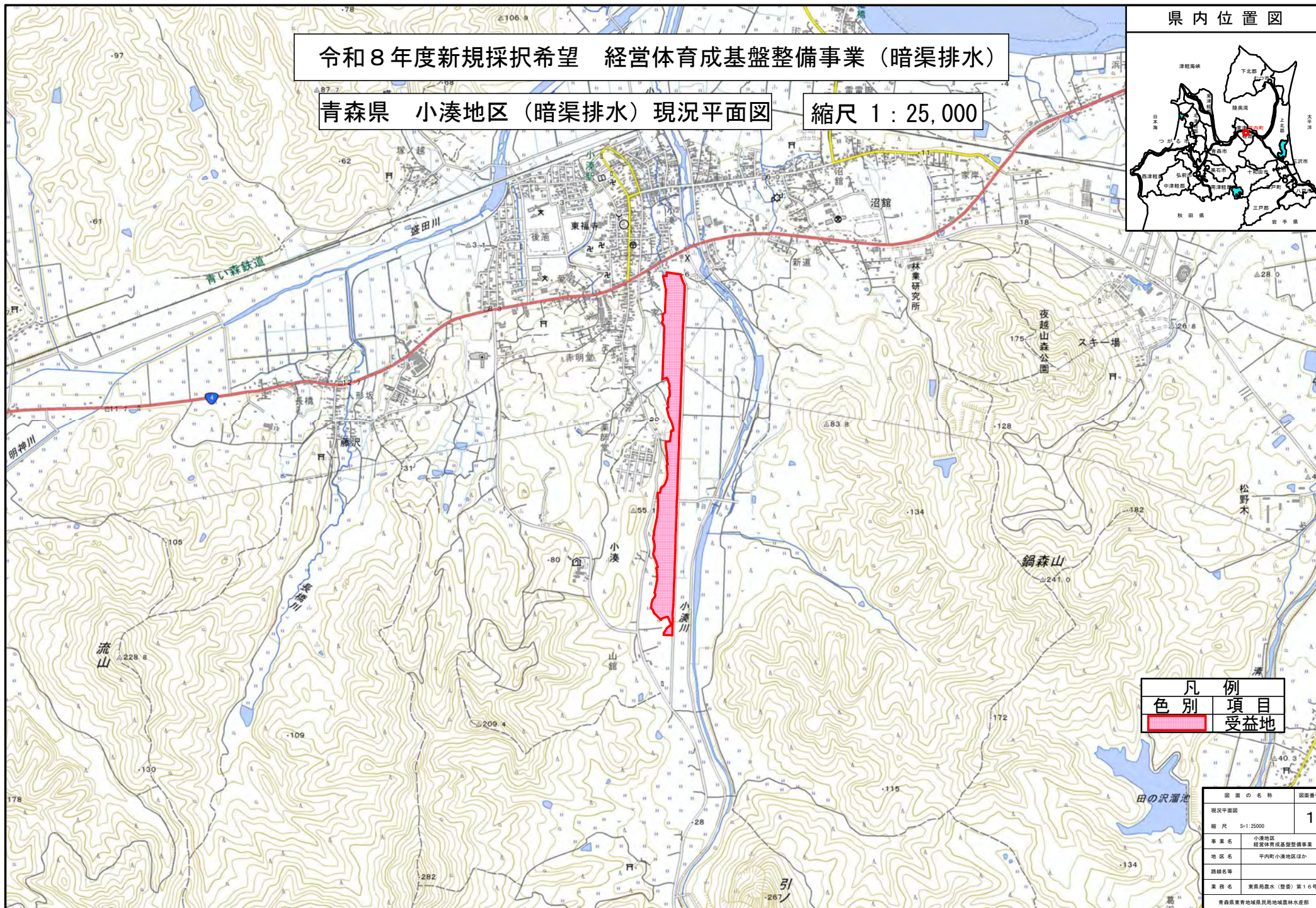
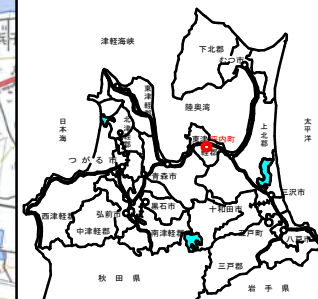
- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 //
- 3. 主要構造図 //

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

青森県 小湊地区（暗渠排水）現況平面図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図

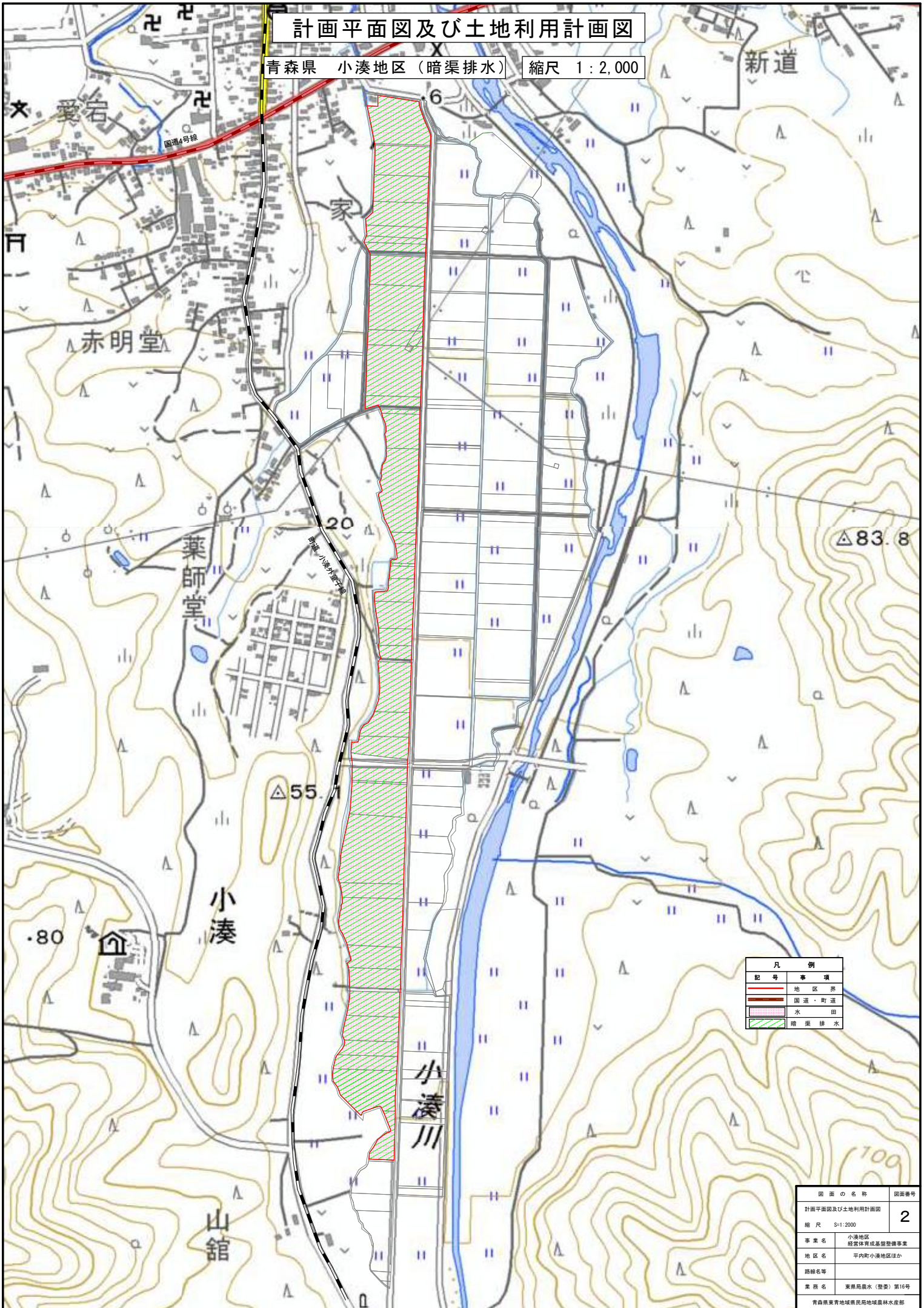


凡例	項目
色別	受益地
	受益地

図面の名称	図面番号
現況平面図	1
縮尺	S=1:25000
事業名	小湊地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	平内町小湊地区ほか
路線名等	
業種名	東奥局農水（整委）第16号
青森県東奥地域農林局地域農林水産部	

計画平面図及び土地利用計画図

青森県 小湊地区（暗渠排水） 縮尺 1:2,000

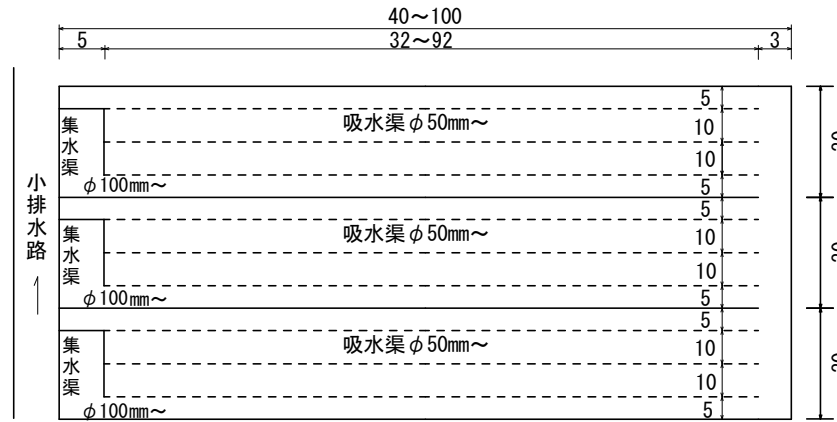


凡例	
記号	事項
—	地区界
—	国道・町道
—	水
—	田
—	暗渠排水

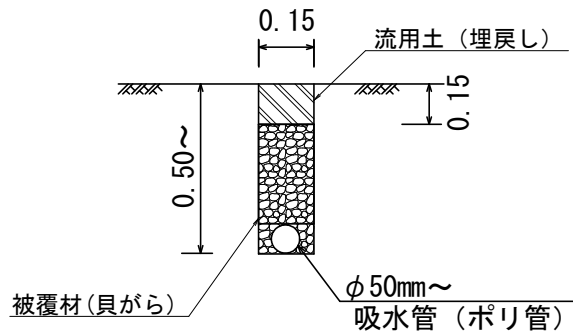
図面の名称	図面番号
計画平面図及び土地利用計画図	2
縮尺	S=1:2000
事業名	小湊地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	平内町小湊地区ほか
路線名等	
業務名	東根町農水（整安）第16号
青森県東青地域農林局地域農林水産部	

主要構造図

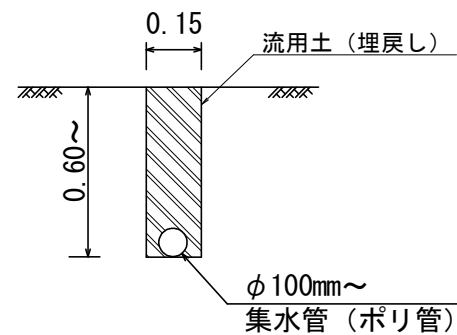
暗渠排水工



吸水渠



集水渠



図面の名称		図面番号
主要構造図		3
縮尺	No Scale	
事業名	小浜地区 経営体育成基盤整備事業	
地区名	甲内町小浜地区ほか	
路線名等		
業種名	農業局農水(整委)第16号	
青森県東青地域農林局地域農林水産部		